

トルコ編第二弾 ～ボスポラス海峡でボラれた話～

今回は私のワイフの体験談です。

私が第5回世界水フォーラム会議に参加している間、ワイフは「ボスポラス海峡のクルーズ船で観光をしたい」との事でホテルのコンシェルジュから聞いた船着場に向かった。教えられた船を探していると「船に乗るなら、こっち」と、案内人らしき人から声をかけられ、それについて行った。乗船チケット売り場で乗船代 30 トルコ リラ（以下TLと略す）を支払い乗船した。コンシェルジュのお勧めにしては随分貧弱でローカルな船と感じたが船は出航した。

船内での案内放送も無く、BGM もなく、ただひたすらボスポラス海峡を進んだ。まもなく一緒に乗船したイタリア人女性のボスらしき人から声をかけられ、お互いに簡単な自己紹介をした。そして「ケイコ、乗船代いくらだった？」と訊かれたので「30TL」と答えたら、とてもびっくりされ、「私達は 10TL よ！」と。それを聞いたワイフは「日本人女性、甘く見られた、絶対に代金を取り戻さねば!!」。

彼女の怒りにスイッチが入り、下船後に返金してもらうにはなんと言えよいかと、もう、その事だけで頭がいっぱいで、景色を楽しむ余裕は無かったようだ。何故ならばワイフはあまり英語が得意ではないので・・・。

下船後イタリア人のボスに食事を誘われたが、取り戻す代金の事で頭が一杯で、丁寧にお断りし、乗船場に向かった。ワイフは「乗船するの?」と聞いて来た男性を見つけ、「今、乗船して来たけど他の人は 10TL なのに「なぜ私は 30TL だったの? 今すぐ差額を返して!!」と。男性は「ちょっと待って」、と言って何処かに電話をして 10TL を返金してくれた。ワイフは「あと 10TL なんだけどな」と不満に思ったが、「まっ良いか、残りは勉強代」と納

得したが、もし私の英語がパーフェクトなら差額・全額取り戻せたのにと悔しがっていた。

私はワイフの話をヒヤヒヤして聞いていたが、ワイフ曰く「各国の首脳が出席する国際会議に向け、トルコ中のポリスが集まったのか」と思うくらい会場や船着き場の周りはポリスだらけだったので、何かあったら大声で騒げば必ずポリスが助けてくれると思ったと・・・。

私はボスポラス海峡に浮かんたワイフの確認に行く事にならなくて良かった、と胸を撫でおろした。因みにコンシェルジュのお勧めの船は立派な客船だったと、後から聞いた。

（吉村和就/習志野市国際交流協会会長、国連テクニカルアドバイザー）



ボスポラス海峡地図